

競 技 注 意 事 項

この記録会は 2022 年日本陸上競技連盟競技規則によるほか、次の申し合わせ事項によって行う。
また、自然災害や新型コロナウイルス感染状況等によっては、大会中であっても中止、中断する場合がある。

1. 招集について

- (1) トラック種目の招集場所は北器具庫、フィールド種目は現地での招集とする。
- (2) 招集開始から完了時刻までの間に招集所で、競技役員にアスリートビブスの確認を受けること。
(1500m 以上のトラック種目は招集所で腰ナンバーを受け取り、ゴール後は返却をする。)
- (3) 最終点呼後は各自でトラックのスタート地点まで移動する。
- (4) 出場する競技種目を欠場する場合は、招集完了時刻前までに招集所の競技者係へ欠場届を提出する。
- (5) 招集時刻に遅れた場合は競技者は棄権したものとして処理される。(競技の進行が早まる場合はその都度、アナウンスがあるので注意すること。)
- (6) リレーのオーダー用紙は招集所で配布する。オーダー用紙は第 1 組目の招集完了時間 1 時間前までに招集所に提出すること。
- (7) 招集完了時間は下記のとおりとする。

種 別	招集完了時刻
トラック	15 分前
フィールド	40 分前

2. 練習について

練習は競技役員の指示により行うこと。

- (1) 本トラックでの練習は競技開始 30 分前まで開放する。フィールド競技の各ピットは、競技に支障がない範囲で開放するが、競技役員の指示に従って使用すること。
- (2) 直線走路及びバックストレート外側を常時開放する。直線競技実施時はバックストレートの全部を開放する。雨天走路での練習は原則すべて禁止する。ただし、雨天時は別途指示する。
- (3) 雨天走路での走幅跳の競技中における調整練習は認める。
- (4) 投擲競技種目の練習は投てきピットのみとし、投てきピット以外での練習は禁止する。

3. アスリートビブスについて

- (1) 各競技者はプログラムに記載された番号と同じアスリートビブスを、ユニフォームの胸部または背部に付ける。
- (2) 跳躍競技に出場する競技者は胸部または背部どちらか一方でもよい。
- (3) 1500m 以上の中・長距離の競技に出場する競技者は腰ナンバーをパンツの右側後方に付ける。
腰ナンバーは招集所で配布する。

4. 競技運営について

本大会は下記の主な留意事項に基づいて運営する。

- (1) 競技運営上、競技日程及びピットを変更することがある。また、地震、雷雨等の自然災害や Jアラート発動の場合は、競技を中断し安全が確認された後に再開する。
- (2) トラック及びフィールド内には、その競技を行う競技者及び役員（審判員及び該当補助員）以外は立ち入ることはできない。

- (3) 競技者がレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込んだり、使用しての助力は許されない。※通信機能付の腕時計を装着する場合は通信機能をオフにしておくこと。
- (4) トラック競技の着順及び計時は原則として写真判定で行う。
- (5) セパレートレーンで行うトラック競技では、競技者は安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分の割り当てられたレーン（曲走路）を走り、他の競技者の邪魔をしないこと。
- (6) リレー競技においては、チームの出場者は同系色のユニフォームを着用すること。
- (7) 4×100mR 競技における第 2、第 3、第 4 走者は、自チームで用意する最大 50 mm×400mm の粘着テープをマーカーとして 1 カ所使用することができる。なお、競技終了後、使用したマーカーは責任をもって取り除くこと。
- (8) テイク・オーバーゾーン 30m とし、次走者のスタートゾーン内からスタートしなければならない。
- (9) フィールド競技における競技場内での練習は審判員の指示で行う。走幅跳、走高跳、砲丸投については 1 分以内でスタートしなければならない。棒高跳についても 1 分でスタートしなければならない。
- (10) 走高跳、棒高跳に出場する競技者は助走路の外側に主催者が準備したマーカーを 2 個まで置くことができる。
- (11) 棒高跳に出場する競技者は支柱を自分の希望する位置に移動してもよい。
- (12) 各レースでの不正スタートは一度の不正スタートでも責任を有する競技者は失格とする。スタートの合図は英語で行う。

5. 走高跳、棒高跳におけるバーの上げ方は次のようにする。

種目	性別	競技	練習
走高跳	男	1m35、1m40、45、50、55、60・・・以上 3cm きざみ	1m30
	女	1m20、1m25、30、35、40、45・・・以上 3cm きざみ	1m15
棒高跳	男女	1m80、1m90、2m00、2m10・・・以上 10cm きざみ	1m70

- (1) 天候その他の関係で変更することがある。
- (2) 競技場備付の滑り止め（炭酸マグネシウム）は感染予防のため共用しないので、必要な競技者は各自で準備すること。

6. スパイク（シューズ）の制限について

本競技場におけるスパイクピンの数は 11 本以内とする。また、スパイクピンの長さは 9 mm以内とする。走高跳については 12 mm以内とし、先端の直径は 4 mm以内でなければならない。

7. その他

- (1) 会場への入場時はチーム代表者が受付にて「体調管理チェックシート」等の確認を受けること。確認がない場合は参加を認めない。
- (2) 応急措置、その他健康上の問題が生じた場合は本部に連絡すること。救護場所は雨天走路に設置する。応急措置は行うが、以後の責任は負わない。
- (3) 感染防止のため観戦者は 2 階スタンドでのみの観戦とするが、入場に当たっては入口に受付を設置するので、観戦者体調管理チェックシートを提出のうえ、リストバンドを装着し観戦すること。なお、コンコースへの階段の開放は競技場正面を向いて右側の階段のみとする。
- (4) 感染防止のため 2 階スタンド及び芝生スタンドでの声を出しての応援は禁止する。
- (5) 選手の待機場所はスタンドとするが、芝生スタンドでは通路を空けること。また、感染防止の観点から 3 密は避けること。
- (6) ゴミは各自持ち帰ること。